

棚ごと自動・効率搬送する 小型・低床式無人搬送車「Racrew」を開発、販売開始

コスト削減と生産性向上の両立を実現



小型・低床式無人搬送車「Racrew」

株式会社日立製作所(執行役社長兼COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、小型・低床式無人搬送車「Racrew」*1を開発しました。「Racrew」は、各種工場の製造・部品保管ラインや倉庫業・通信販売業の配送センタなど向けに、部品や商品が保管されている棚を、棚ごと指定位置まで自動搬送します。「Racrew」を導入することで、作業者が自ら棚に取りに行く場合と比べ、作業者の生産性向上と省人化を図ることができます。また、専用搬送機を用いて、棚から部品や商品の出し入れを全自動で行う自動倉庫システムに比べ、初期コストを約3割**2抑制します。

「Racrew」は9月1日から国内販売を開始し、今後、アジアを中心とした海外向けにも積極的に拡販していきます。

一般的に、各種工場の製造ラインや物流倉庫では、作業者は、作業指示に応じて棚に保管されている部品や商品などを自ら取りに行きますが、作業効率の向上や人件費削減の面からは、自動搬送システムの導入が進められています。そこで自動倉庫システムを導入すると、作業効率を大幅に向上することができますが、初期コストが高くなるとともに、部品や商品の保管量や、工場内のレイアウト変更などへのフレキシブルな対応が困難です。

今回、日立が開発した「Racrew」は、こうした人手による作業と自動倉庫システムの両方の課題である、作業効率向上とコスト削減を実現します。「Racrew」は、小型かつ低床であることから、棚の下に潜り込み棚を持ち上げます。部品や商品が保管してある棚をそのまま指定位置まで自動搬送できるため、作業者自身が移動することなく部品や商品などをピッキングすることができます。また、「Racrew」は、収集・蓄積した運用データを元に、日立のデータアナリティクスのノウハウを活用した分析・シミュレーションを行うことで、利用頻度の高い部品や商品を積んだ棚を、短い搬送時間で済む位置に配置したり、渋滞の少ない搬送ルートを選択するなど、搬送効率を改善させる機能も有しています。

今後日立は、「Racrew」を国内外において積極的に販売していきます。また日立は、物流ソリューションとして、計画からシステム構築、運用、アウトソーシングまでをトータルに提供しており、「Racrew」をラインアップに加えることで、さらなる事業拡大を図っていきます。

*1 「Racrew」は株式会社日立製作所が日本において商標登録出願中です。

*2 日立製の自動倉庫システムとの比較。

■「Racrew」の車体仕様

| | |
|--------|--------------------------------|
| 外形寸法 | 幅 900mm × 長さ 960mm × 高さ 380mm |
| 積載荷重 | 最大 500kg |
| 走行速度 | 最大速度 60m/分（無負荷時最大速度 80m/分まで可能） |
| 電源 | リチウムイオン電池（自動充電機構付） |
| 使用環境条件 | 一般屋内環境（結露が発生しない場所） |

■主な適用先

- ・機械器具製造ライン、部品保管ライン
- ・医薬製造ライン
- ・食品製造ライン
- ・倉庫業配送センター
- ・通販業配送センター 他

■「国際物流総合展 2014」での紹介について

日立は、2014年9月9日(火)～12日(金)まで東京ビッグサイトで開催される「国際物流総合展 2014」において、小型・低床式無人搬送車「Racrew」を紹介します。

<http://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/>

■照会先

株式会社日立製作所 インダストリアルプロダクツビジネスユニット
営業統括本部 コンポーネント第二部
〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー12階
電話：03-6284-3963 (部代表)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
